

平成25年度事務事業評価シート

◎基本情報

事務事業名	農漁業6次産業化推進事業		担当部署	経済建設部 農林水産課	
総合計画体系			根拠法令計画など	六次産業化法	
基本政策(大項目)	1	うきうき活力と魅力あふれるまちづくり	事業期間	開始	平成 <input type="text" value="24"/> 年度
政策(中項目)	1	豊かで活力あふれるまち なんと			終期
(小項目)		産業			
施策	1	産業の振興と経営基盤の充実強化			
基本事業	1	地場産業の育成・振興			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 本市で農業・漁業を行う者、関係団体、法人等						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	生産者・生産者団体、関係機関等が生産・加工・流通・販売振興に連携して取り組み、付加価値の向上による生産者所得の確保を図る。また、産業間の有機的連携を深めることで本市産業の底上げを図る。						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
		生産者等の自主的取り組み数		10	10	10	10	件

◎実施結果(DO)

事業実施内容	24年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行ったのか	①農漁業6次産業化フェアの開催により、市内に於ける販売機会の拡大を図るとともに6次産業化の可能性の検証に努めた。 ②JA等と連携した京阪神市場へのトップセールスにより、大消費地における本市農産物のPR及び加工等の6次産業化の可能性等についての意見交換・情報収集に取り組んだ。 ③特産果実の販路拡大、付加価値の向上を目指した「鳴門うずしお果実酒・リキュール特区」を制定した。					
事業実施手法		<input checked="" type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他					
	指標名	23年度実績	24年度実績	25年度目標	26年度目標	27年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	6次産業化に関する相談会等回数		1	1	1	回
	2	取り組み事業数		3	1	1	件
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>		生産者等の自主的取り組み数		10	—	—	件
		目標達成率(実績/目標)		100.0	—	—	%

コスト分析		23年度実績	24年度実績	25年度	26年度	27年度	単位	
事業費	(財源内訳の合計)		833	1,100	1,100	1,100	千円	
	財源内訳	国		0	0	0		0
		県		0	0	0		0
		地方債		0	0	0		0
		その他		0	979	979		979
		一般財源		833	121	121		121
事業にかかる人件費 (人件費内訳の合計)			672	672	672	672	人	
人件費内訳	正規職員(6,721千円/人)		0.1	0.1	0.1	0.1		
	臨時職員等(2,023千円/人)							
総事業費 (事業費と事業にかかる人件費の合計)			1,505	1,772	1,772	1,772	千円	

【事務事業名：農漁業6次産業化推進事業】

◎平成25年の実施状況(DO)

現在の実施状況	①関西圏へのトップセールスを消費者・小売店にも拡大し取り組む。 ②徳島6次産業化サポートセンター、商工・観光と連携した付加価値向上に向けた相談活動に取り組む。 ③果実酒・リキュール特区制度を活用した取り組みを推進するため、広報、チラシ等により制度周知を図る。
---------	---

◎項目別評価(CHECK)

事務事業の評価	1.必要性の評価		理由等所見欄	
	8	<input checked="" type="checkbox"/>	① 廃止した場合に支障が出る。	廃止した場合は、本市の特色である農水産業の健全な発展や関連産業に影響を及ぼす恐れがある。
		<input checked="" type="checkbox"/>	② 施策 産業の振興と経営基盤の充実強化 の達成につながる事業である。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	③ 税金で実施するにふさわしい事業で、市民への説明責任も果たせる。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	④ 市民の基本的な生活の維持・確保に必要不可欠な事業である。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	⑤ 行政内部の管理上必要不可欠な事業である。	
	/10	<input type="checkbox"/>	⑤ 法令により実施することが義務づけられている事業である。	
	2.有効性の評価		理由等所見欄	
	10	<input checked="" type="checkbox"/>	① 市民生活上の課題解決に貢献している。	市内外での販売・PRは、6次産業化を目指した取り組みを支援するため効果的な施策である。
		<input checked="" type="checkbox"/>	② 行政内部の管理上の課題解決に貢献している。	
<input checked="" type="checkbox"/>		③ 事業目標が達成できるような事業内容になっている。		
<input checked="" type="checkbox"/>		④ 事業対象は適切である。		
<input checked="" type="checkbox"/>		⑤ 成果目標が達成され、市民に具体的に説明できるような効果があがっている。		
/10	<input checked="" type="checkbox"/>	⑤ 現在の事業費で、事業の見直しによる成果向上の余地はない。		
3.効率性の評価		理由等所見欄		
10	<input checked="" type="checkbox"/>	① 事業実施手法は適切である。	生産者・生産者団体、県等が主体的に実施する関連事業等との調整は必要。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	② 事業費を削減する余地はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/>	③ 作業手順の改善などによる人件費削減の余地はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/>	④ 受益者負担や補助金の割合に問題はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/>	⑤ 効率性向上の余地はない。		
/10	<input checked="" type="checkbox"/>	⑤ 効率性向上の余地はない。		

◎今後の方向性(ACTION)

課題					
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓「廃止」・「要改善」・「拡充」の場合は以下の欄に記入してください。					
今後の改革案	実施予定時期	<input type="text"/> <input type="text"/>			
	どのように改革するのか				